

作業部会 (11/1)でのポストイット意見一覧

第1回の作業部会では、今後の検討スケジュール案を検討するにあたり、次の5つのポイントについてポストイットで意見を出し合い、それらを整理しました。

「 準備会、部会、ワークショップの役割」 「 スケジュール」 「 検討の内容、範囲」
「 課題の内容」 「 その他」

分類については、市事務局で一部手を加えています

準備会、部会、ワークショップの役割

	分類	内 容
1	相互の役割	1準備会:全体とりまとめ 2部会:主な検討テーマのツメ・たたき台作成 3WS:協働事業のシミュレーションによる情報提供
2	相互の役割	準備会:部会で決定・検討した事柄について調整・決定をする 部会:各検討テーマに対し、広範に亘り討議をする場 ワークショップ:準備会で決定した事柄や、もっと広く意見をいただきたい事などワークショップを利用し補完しあう
3	相互の役割	準備会とワークショップで検討する課題を役割分担してはどうか 準備会 協働推進会議について、提案制度について、協働の拠点について ワークショップ 協働事業について 市民事業について 協働の指針について
4	ワークショップの位置付け	ワークショップの位置付けが、全体会・作業部会との関係であいまいなのではないか。啓蒙普及活動の1つとしてとらえるばかりでなく、市民の新しい公共性への思いの吸い上げの場、創造の場とするならば、これらの中で出た意見等をどのような形で吸い上げるのかのシステムの明示化が必要ではないか。またもっと多くの市民が参加するようにPRも必要ではないか。今の状況では作業部会の延長か、もっとくだけたものといった感じで広がりを感じられないように思う。
5	検討の流れ	全体会・部会・ワークショップ間の役割分担においては、ワークショップの検討結果をスピーディーに情報として、作業部会・全体会に反映させる工夫を講ずべきである。また、作業部会での結果を、全体会で報告して進めるかたちは、時間のロスにつながると思うので、全体会の前に調整を済ませて望むかたちを考えるべきだと思います
6	検討の流れ	テーマ ブロック毎に担当を決め、たたき台を事務局と協力して作成して推進する
7	検討の流れ	作業部会・全体会が順次とりあげていくべき課題については、ワークショップの流れに沿っていくのではなく、別途事前にスケジュール的にテーマを示しておく必要があるのではないか。 の関連で具体化されるとは思うが・・・
8	検討の流れ	1ワークショップで出てきたものを作業部会で検討し、全体会で決定していく 2作業部会2では、協働推進会議に関する課題(資料1の1-1~1-5)について検討テーマとする。
9	市の役割	市の役割をもっと明確にする必要はないか

10	事務局ボランティアの役割	事務局ボランティアの役割 広報活動 資料収集
11	事務局ボランティアの役割	事務局ボランティアはそれぞれどこを担うか、役割分担が必要。広報担当、調査研究担当、WS担当など
12	事務局ボランティアの役割	事務局ボランティアの方々の役割については、全体での議論も必要かと考えますが、ボランティアの方とのご意見とともに話し合うことも大事だと思います
13	事務局ボランティアの役割	事務局ボランティアの役割について一寸わからないので、今日議論してまとめて確認した方が良いと思う。

スケジュール

	分類	内 容
14	開催回数	作業部会に関しては最低5回以上は必要であると思う(今日を除いて)理由:全体会やワークショップ等の絡みを考えると、実質検討する部会の位置付けは重要。運用と運営させるための事柄に絞るべきだと思う
15	具体的な検討スケジュール	作業部会2では、協働事業に関する課題(資料1の2-1~2-4)について検討テーマとする。特に重要なのは財源の問題である。2回の作業部会でまとめに入れるか時間がなさすぎる
16	具体的な検討スケジュール	資料1の検討課題1~6のうち、「2協働事業」「3市民事業」については、WSからの情報や提案に対応することとし、「1協働推進会議」「4提案制度」「5協働の拠点」「6協働の指針」についてを優先検討課題とする。そのうち、公募というスケジュールがある「1協働推進会議」は検討を急ぐ。したがってテーマ を1、テーマ を4と5、テーマ を5にあててはどうか
17	具体的な検討スケジュール	作業部会2 1理念に関連して 2市民事業(11条)について 作業部会3 協働事業について 作業部会4 提案制度 作業部会5 協働の拠点 作業部会6 協働の指針
18	具体的な検討スケジュール	部会1:部会の進め方検討 部会2:協働推進会議+協働事業その1 部会3:協働事業その2 部会4:(市民事業)+提案制度 部会5:協働の拠点 部会6:協働の指針
19	討議の順番	協働推進会議の位置付けをまず最優先課題としてその役割を検討し、次に市民事業・協働事業の枠組みを構成することが、準備会として進める必要があるのでは
20	討議の順番	重要なのはH15.4から始まる推進会議が機能的かつ効果的に運用・運営させることだと思う。戦略的なものは時の流れとともに変わるのは必然であり、H15.4から協働事業を推進していくためのルールづくりをするべきだと思う。
21	討議の順番	市民活動センターについての議論は、他がつめられてからで良いと思う

検討の内容・範囲

	分類	内 容
22	方法・手続き 中心	協働推進会議の取組み方について、その方法・手続きが検討の中心である
23	方法・手続き 中心	推進会議を中心として市民・NPO・行政・事業者が、どのような取組みをすべきかをも自由に意見を出す
24	現行法規との 関係	「公」を形成する市民活動はあらゆる分野に及ぶが、その場合、現行の法規・制度がネックになることも予想される。市民活動の多様で限りない可能性を応援するなら、そうした面の検討も必要ではないか
25	分野別部会	分野別の部会を設けては？そこで、今ある行政とどのように関わっていけるかを行政と一緒に考えていく
26	分科会	分科会で行うことには反対です（理由）検討テーマが具体的な事柄になるので出来る限り最大公約数的な形で議論を重ねるべき
27	どこコミ	テーマによっては、どこコミで議論してみても良い。事業者の位置付けなど
28	事業範囲の 明確化	具体的に考えられる「事業」の範囲(分野)を出していくべき
29	議論の進め 方	各検討項目(資料1:主な検討テーマ)について全員に意見を書いてもらう。理由、残りの4回の作業部会で全体についてある程度の意見集約が必要と考えるから
30	議論の進め 方	具体的な事柄にテーマを絞って話を進めるべきである。作業部会(02/11/01)資料1にある主な検討テーマを条ごとに分け、部会で検討していく。段階的に全体会やワークショップに検討事項を投げていく

課題の内容

	分類	内 容
31	新しい公共	「新しい公共」。このコトバの具体的なイメージ、先行事例・モデルを他市(国際的視野も含)から学び、たとえば大和市での可能性、課題を考える。つまり研修、講習会の要あり
32	新しい公共	「新しい公共」を教育の場に。授業に取り込む大和市小中高に。また「新しい公共」のカタチを教育、子どもの場に持ち込む
33	新しい公共	「新しい公共」とは今ある公共のアンチテーゼとしてだけは考えたくない
34	おぢBANKや まとの仮企画	ワークショップ おぢBANKやまと 議論百出。けれども強引にあるときは「仮企画」をつくってしまい。Who?・・・市民事業としての可能性をしつこく探る。「新しい公共」の見える姿として
35	協働推進会 議	協働推進会議の運営の仕方自体、年々の運営を自己評価。市民・行政・事業者等からの評価を得ながら改善しつづける

36	協働推進会議	登録制や提案制度について 特に市民提案を協働推進会議が意見書作成するというプロセスが検閲化とならないための防止対策をどうするかを考えておく必要がある
37	協働の拠点	協働の拠点(市民活動センター)の運営について コミセン・学習センターとの役割のちがいを明確にハッキリと出す 市民活動とサークル・ボランティア活動の定義のちがい
38	協働の拠点	予算編成との関係では公設の協働の拠点について準備会での議論は間に合うのか
39	資金	予算については、従来のルールにとらわれすぎないような市民活動推進枠的な取り方も考える。この議論も優先度を下げて良い。
40	資金	協働事業の中における財源の所で、基金などをつくっていったらどうか
41	事業者との関係	事業者が行う活動の位置付けについては徹底した議論を

その他

	分類	内 容
42	市職員への浸透	第10条(3)市職員に対する「新しい公共の創造に関する啓発や研修等を行うこと」とあり、現在、どれだけの市職員がこの「新しい公共」が脳に浸透しているか、かなり疑問。お金をかけて、課題を与えて、これを全体のものにするため進めてほしい。(一方通行のレクチャーではなくて)
43	条例の具体化	この成立した大和市の条例はかなり注目されていますが「理念条例でおわるよ」という声をエネルギーにして、1日も早く1項目でも具現化していくべき
44	実態把握	市民が今の行政に対し何が足りないと思っているのか、何をして欲しいか、実態把握が優先すると思う。それには市場調査もしくは与論の作業が必要と思う。
45	ワークショップ型シンポジウムについて	「新しい公共」キャンペーンを行う必要がある。毎回の広報やHPの更新や(壁紙を新しい公共バージョンにするとか)、CI戦略を用いて普及させるべき(大和市は「新しい公共づくり」に挑戦とか)